

会報誌 「しほこの樹」

第6号



【村松志保子助産師顕彰会とは】

明治・大正時代に女医から産婆になり、博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上に貢献した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を実践した助産師（産婆）を表彰し、その志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。現在、会員89名で活動を行っています。



南野知恵子先生

「村松志保子助産師顕彰会」会長に就任して 会長 南野知恵子

平成17年に、「村松志保子助産師顕彰会」が設立され、初代会長として広瀬綾子先生（現名誉会長）がその任に就かれました。明治時代に、医学を学んだ上、産婆（助産師）として、村松志保子先生は活動されました。その助産師としての見識の高さと博愛の精神の広さは、当時も大きな影響を与えましたが、我々後世の助産師がその志を継承し、広く社会に貢献出来る専門職を目指すことは、歴史的にも大きな意義があります。

私も第2回の顕彰会で表彰される栄誉に浴する機会が与えられました。そのことがご縁の一つとなって、参議院議員を辞した昨年の4月に広瀬先生から、会長職をバトンタッチいたしました。平成23年度の今回の表彰式からその大役をさせていただくことになります。

子ども虐待、DV等々現在ほど、助産師の力が社会に求められている時代はありません。胎児期から中高年まで、家族の絆、親子関係を基盤にした子どもの心が健全に育つ助産師の支援が重要です。

そのような重要な活動を地域で、施設で、学校でコツコツと地道に活躍されてきた助産師の皆様をこの顕彰会で顕彰できますことをとって嬉しく、誇りに思っています。

今回顕彰された皆様には、心からお祝い申し上げます。

そして、これからも、皆様と共に、本会活動を通じて、助産師が、更に一層母子とそこご家族の皆様のご健康と幸福に貢献できればと願っています。



顕彰会設立時から、これまでの会長を務められました広瀬綾子先生は名誉会長へ、そして、新たに南野知恵子先生が会長にご就任されました。



表彰状を変更しました。
村松家の家紋（りんどう）を
アレンジしています。（A4サイズの見開き）



壇上の広瀬綾子先生



顕彰会設立当時の新聞記事

お知らせ コーナー

- 会則は、平成17年1月26日から施行する。
- 会則は、平成22年5月16日から改正施行本会に名誉会長、名誉顧問を置く
- H22年5月 第10回村松志保子助産師顕彰会表彰式
- H23年1月 村松志保子氏の墓参り
- H23年5月 第11回村松志保子助産師顕彰会表彰者郵送にて表彰
- H23年7月 (予定) 第12回村松志保子助産師顕彰会表彰式

理事会：3回開催

*「理系の扉を開いた日本の女性たち」ゆかりの地を訪ねて
著者：西條敏美（新泉社）のなかに村松志保子を取り上げられる



墨田区長様より

日本で最初の女医から助産師となり墨田区横網町で活躍した村松志保子の顕著な功績が 明らかになりました。

墨田区では、「墨田やさしいまち宣言」～人と地域と環境のために～の理念や行動指針を2000年に示していますが、“助産師としての村松志保子の活躍には相通じるものがある”として、その功績が墨田区のやさしいまちづくりの先駆者として墨田区で高く評価されました。

第10回村松志保子助産師顕彰会式典 春の部受賞のみなさま

第10回村松志保子賞等表彰式および懇親会
会場：リバーサイドホール1階ミニシアター
受賞者代表ごあいさつ

記念講演1「村松志保子研究の最近の話題」原島早智子氏
記念講演2「長年の開業助産師活動から後輩に伝えたいこと」中田民子氏
記念講演3「世田谷産後ケアセンター」構想へのチャレンジ」宮里和子氏
表彰者からの一言メッセージ



墨田区長様



原島早智子理事



桶谷様からお花が届きました。

第11回村松志保子助産師顕彰会式典 郵送の部受賞のみなさま



第十回平成二十二年(春の部)
村松志保子助産師顕彰会表彰者

村松志保子賞

小暮惟子 (地域母子支援活動)

小野数子 (母乳育児・地域母子支援活動)

佐々木節子 (母乳育児・地域母子支援活動)

白石勝子 (地域母子支援活動)

鈴木允子 (地域母子支援活動)

築茂紀久子 (母乳育児・地域母子支援活動)

外山タミ (地域母子支援活動)

中田民子 (地域母子支援活動)

松本八重子 (助産師教育支援活動)

宮里和子 (助産師教育支援活動)

特別賞

濟生会宇都宮病院母子医療センター (先駆的助産活動)

江角二三子(日本助産師会への貢献)

故・横山フク (母子保健関係の国政への貢献)

故・江尻さち子(地域母子支援活動)

故・加瀬さつ(地域母子支援活動)

故・井住アヤ子(地域母子支援活動)

感謝状

川鍋康弘 (胎盤処理衛生への貢献)



表彰状は、会長の温かい言葉と



表彰状授与後全員で”ハイ♪チーズ”



歌やマジックなどでの懇親会は、とても和やかな雰囲気であつと言う間の楽しいひとときでした♪



第十一回平成二十二年(郵送の部)
村松志保子助産師顕彰会表彰者

村松志保子賞

佐藤ムツ (地域母子支援活動)

鶴田きく江 (地域母子支援活動)

宇野種子 (地域母子支援活動)

古園井フジ枝 (地域母子支援活動)

毛利種 (地域母子支援活動)

植芝智代子 (地域母子支援活動)

左古かず子 (地域母子支援活動・助産師教育)

小山絹子 (地域母子支援活動)

千頭昭子 (地域母子支援活動)

若松かをい (助産師教育)

村山郁子 (地域母子支援活動・助産師教育)

梶田富美子 (地域母子支援活動・助産師教育)

村井操子 (地域母子支援活動)

特別賞

故・小早川和子 (地域母子支援活動)

故・大和スエノ (地域母子支援活動)

故・対中トヨコ (地域母子支援活動)

元山美貴 (地域母子支援活動)

さくらんぼ (地域母子支援活動)

ベルランド (地域母子支援活動)

愛仁会高槻病院 (地域母子支援活動)

八戸市民病院 (地域母子支援活動)

鳥取県支部 (地域母子支援活動)

山口県支部 (地域母子支援活動)

宮崎県支部 (地域母子支援活動)

沖縄県支部 (地域母子支援活動)

精励賞

武智三悦 (地域母子支援活動)

竹下美津子 (地域母子支援活動)

古川智代 (地域母子支援活動)

崔美子 (地域母子支援活動)

感謝状

大下陸郎 (産婦人科医・思春期教育)

早乙女智子 (産婦人科医・地域星医療)

高橋克幸 (産婦人科医・助産師教育)



コラム

“職人の手” 金 寿子 (開業助産師)

ひとつひとつ、そして心のこもったきめこまやかな手仕事…。
できあがったものすべてに、職人の粋が生きていて、魂がこもっている。
一人前の職人になるためには、日々技術を磨き、精神を磨き。
助産師もまた、ある種“職人”であると思う。
ひとつひとつ、心のこもった、ときにきびしくそしてやさしくきめこまやかなケア…。
何千、何万とお産を取り上げた産婆さんの手はまさに“職人の手”
その手にはお母さんや赤ちゃんをやさしくつつみ、見守ってきた。
私の手…「まだまだやねえ」、職人の手になるまでにあとどれくらいかかるだろう。
顕彰会の座談会で広瀬先生や佐々木先生からたくさんのお話をうかがった。
先輩方の教えを胸に、一歩ずつでも近づけるように、これからも精進あるのみ！



素敵なお原稿をお寄せいただいたのは助産師の“きんちゃん”♪

可愛い愛称で誰からも慕われていて、心優しい「村松志保子」先生の志をも受け継いでいます。

第1回目の精励賞（助産師活動教材開発等への貢献）を受賞されました。今は顕彰会の理事でもあり地域でも活躍中の助産師さんです。

「村松志保子」さんって？…もう一度学んでみよう！



現在にも誇るべき助産師界のリーダー、 明治の自立した助産師村松志保子の現在的意義

村松志保子助産師顕彰会書記長 岡本喜代子

数年前より墨田区の文化財調査活動を通じて、前調査員の原島早智子さんの地道な調査活動により、明治中期に、女医から助産師（産婆）になり、女性の健康を守り、まだ極端に低かった当時の女性の地位向上のために、一生を捧げた先駆的で自立した助産師（産婆）村松志保子の存在が明らかになってきた。

私は、20数年前、国立公衆衛生院（現国立保健医療科学院）で、明治時代の助産活動に関する研究をした。この時代、他の分野では、ようやくわが国でも、荻野吟子や津田梅子等の女医や教育者等、目覚めた自立的な活動をした女性が出現した時代でもあった。

しかし、助産師（産婆）の中には、そのような自立的な人物はほとんどいなかった。その原因が教育背景にあり、自立的な女性は、女学校を出ており、当時の女学校はミッション系で、神様の前での人間の平等、男女平等が当然の考えの教育を受けていた。一方、産婆は、儒教的な考えが基盤になっている尋常小学校の出身が普通であった。

志保子の存在は、わが国の助産師の歴史を塗り替え、助産師の本格的な職業化をした明治時代のみならず、現在の助産師にとっても、その存在は、意義深い。

志保子は、当初女医として活動すべく、東洋医学を沼田藩医の父玄庵から学び、さらに済西学舎で西洋医学を学んだ。しかし、妹の産褥熱による死亡を契機に、女医ではなく、産婆として活動することを決意した。

また、実践面で、貧富の差別なく母子への博愛的な保健・福祉活動を展開した。その業績は、先駆的、自立的助産師として、永く助産師界のリーダーとして、将来にわたって、先達として、その存在意義が増していくことであろう。

自然分娩や母乳哺育へのニーズが高まっている現在、さらに福祉的活動家としても、現在における村松志保子の存在意義が益々大きくなっていくことであろう。

奇しくも、平成18年には志保子生誕150周年を迎えた。自然分娩や母乳哺育の普及が課題という現在の日本の出産や助産師への警鐘のために、志保子は150年間の深い眠りから目覚めたという気がしてならない。

「助産師よ、母子のために自律せよ！」と。



トピックス♪

- * 「理系の扉を開いた日本の女性たち」ゆかりの地を訪ねて
著者：西條敏美氏（新泉社）のなかに「村松志保子」が取り上げられました。
- * 本の内容から岡田啓子理事が抜粋してご紹介♪

近年女性の社会進出には目覚ましいものがある。
その先駆者となり理系への扉を開いた女性たちがいた。その25名の生誕の地や
ゆかりの地をめぐった記録を、この本で紹介している。その中の一人として村松志保子が、
「産婆学校（助産師学校）を創設し、自立的博愛的教育を行った助産師
村松志保子1856（安政3）～1922（大正11）」として紹介されている。



①谷中霊園にそびえ立つ村松志保子の碑（大正22年4月に建立）
志保子が亡くなった年に立てられており、碑の文中には志保子の業績が小さな文字で刻まれているが、
「自立の志」という言葉が印象的である。

②志保子の生育暦・人柄・産婆への道
志保子の父（玄庵）は沼田藩の殿様の侍医、母（和歌子）は沼田藩の家老の娘という身分の高い生い立ちで、志保子自身も孔子・孟子の書を学び学問と教養を身につけた才女である。当時の新聞によると「温雅磊落」（おんがらいらく）という言葉で志保子の人柄を伝えている。彼女には三人の兄がいたが三人とも生後間もなく次々と亡くなり、妹もまた、出産後の産褥熱により亡くなっている。志保子が産婆への道を志した理由にはこのような悲しい出来事が深く関与したのであると考えられている。 ☆温雅磊落とは穏やか上品であって、おおらかな心の持ち主の意味

③志保子が安生堂産婆学校を開いた地
墨田区横網町、今の「秋光園」老人保健施設に記念碑が建てられている。

志保子の名は、今ようやく広く知られるようになったが、数年前までは、谷中霊園にある石碑に刻まれたこと以上は明らかでなかった。しかし、墨田区文化財調査員の原島早智子氏が志保子の掘り起こしをはじめ、関東大震災で資料は失われたが、古い新聞記事を調べたり子孫の方への聞き取りを行ったりして志保子の生涯が次第に明らかになってきた。

志保子の愛した墨田の街を訪ねて

墨田公園が発行している「花華通信」は、墨田の名所・旧跡をたくさん紹介しています。
この度は、花華通信からご紹介です。

明治時代に、女史の活躍が認められない事を懸念した新聞社(読売)が、
16職種に分けて活躍する女性を募集したところ、墨田から6名が選出されました。

その中の一人が、「村松志保子」で、総ての部門で一位となっています。

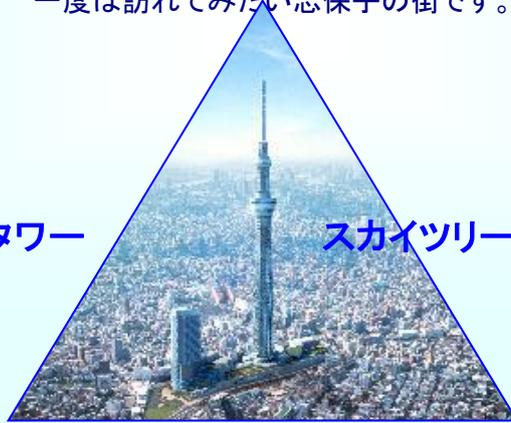
慈善の助産師であり、すみだゆかりの人です。

「すみだやさしいまち宣言」の先駆者として、新タワーにふさわしい人。

一度は訪れてみたい志保子の街です。

新タワー

スカイツリー



「村松志保子助産師顕彰会」役員

会長	南野知恵子	日本看護連盟顧問
副会長	加藤尚美	大学教授
副会長	徳永 瑞子	大学教授
書記長	岡本喜代子	開業助産師, 日本助産師会役員
会計	加藤巴子	開業助産師
理事	白石勝子	開業助産師
理事	岡田啓子	開業助産師
理事	長谷川喜久美	開業助産師
理事	嶋村 克子	開業助産師
理事	金 寿子	開業助産師
監事	佐々木美よ江	開業助産師
監事	原島早智子	前墨田区文化財調査員
名誉会長	広瀬綾子	助産院院長
名誉顧問	山崎 昇	墨田区長
相談役	松島 茂	図書館員
相談役	桂良太郎	大学教授



私たちがお待ちしております♪

みなさま♪
志保子ゆかりの地を
一緒に
散策しませんか♪



「村松志保子助産師顕彰会」入会のご案内

【入会の方法】

本会の活動趣旨に賛同される方ならどなたでも入会できます。
所定の入会申し込み用紙で申し込み、入会費及び会費の
納入確認後、会長が入会を承認いたします。

入会金：5,000円 年会費：5,000円

【お問い合わせ先・入会用紙送付先】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局
住所：〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-5
電話・FAX：042-635-7117

Eメール：otafuku-o@nifty.com.jp

【会費等振込先】

口座名：村松志保子助産師顕彰会
口座番号：郵便貯金 総合通帳



お知らせコーナー

—♪日本助産師会に行きましょう♪—

- ・思春期勉強会 (第1火曜日午後)
- ・女性の性の健康講座 (第2火曜日18時)
- ・楽しい子育て・孫育て講座 (第1金曜日午後)
- *場所は東京本部になります。

会員のみなさま

今年の夏は、東日本大震災に伴う電力節減対策で、体調を崩してしまふ方もいて、厳しい夏になりそうですね。どうぞ、十分お身体ご自愛のほどお元気で過ごしてくださいませ。

お願い

当会では、みなさまの素敵なお活躍の声をお寄せいただき、会報でご紹介したいと思います。また、現在ご活躍されている方や歴代のお産婆(助産師)さんをご存知の方など、みなさまからのご連絡をお待ちして

